



議長を務めた松波中3年の松原史明さん

能登町子ども議会が8月27日、議事堂で開催され、町内4中学校から11人の子も議員が登壇。一般質問では、町政についての疑問や未来への展望、自分自身のアイディアなどを堂々と述べました。

子ども議会



濱上冬凜さん(松波中3年)

松波地区の魅力発信の状況ついて、交流人口、町のファン拡大への取組

【質問】松波地区のPRについて現在取り組んでいることや、今後の企画について。町の交流人口、ファン拡大のための情報発信について、これまでの具体的な取組とその成果について。
【町長】町では松波地区の魅力発信として、旧松波城庭園の発掘現場見学会や恋路海岸、赤崎イチゴをホームページやSNS等でPRしている。地元から提案・企画があれば支援等について検討する。具体的な取り組みとして、「まちづくり合宿等助成事業」、「外国人旅行者誘客事業」などを展開し、誘客者数を伸ばしている。



小城誠勝さん(能都中3年)

企業誘致の課題や見通し、助成の対象となる業種

【質問】企業誘致について、能登町になかなか誘致できない原因は何か。今後の見通しはどうか。また、IT関連の企業も、能登町の助成対象となるのか。
【町長】企業誘致が進まない原因として、消費地や経営拠点から遠いこと等が影響していると考えられる。能登町では世界農業遺産「能登の里山里海」を商品価値に求める企業に対して誘致活動を展開したい。IT関連企業も助成対象業種であり、今後も積極的に、広く誘致活動を行いたい。



奥成生弥さん(小木中3年)

廃屋・空き家の戸数とその活用方法、人口減少に対する方策

【質問】現在、能登町にはどのくらいの廃屋や空家があるのか。また、その活用方法について考えていることはあるのか。町は、人口減少に対してどのような対策を講じているのか。
【町長】昨年度の調査結果によると、能登町には1150件が空き家と判定されている。空き家の活用方法の一つには、移住者向けの住居として整備し提供している。人口減少に対して「能登町創生人口ビジョン」を掲げ、現在、1次産業の活性化や移住定住の促進等の取り組みを進めている。



石川県 ドクターヘリ運航開始

より早く、より遠くへ
命をつなぐドクターヘリ

ドクターヘリとは救急医療に必要な機器及び医薬品を装備し、医師及び看護師等が同乗して救急現場に向かい、救急現場等から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行うことのできる専用のヘリコプターです。

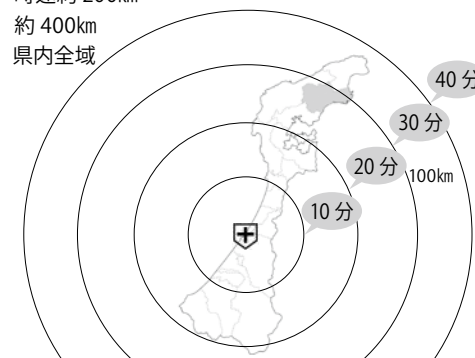
日没前まで
365日運航します

概ね8時30分～日没前まで、365日運航します。
※悪天候の場合を除く。

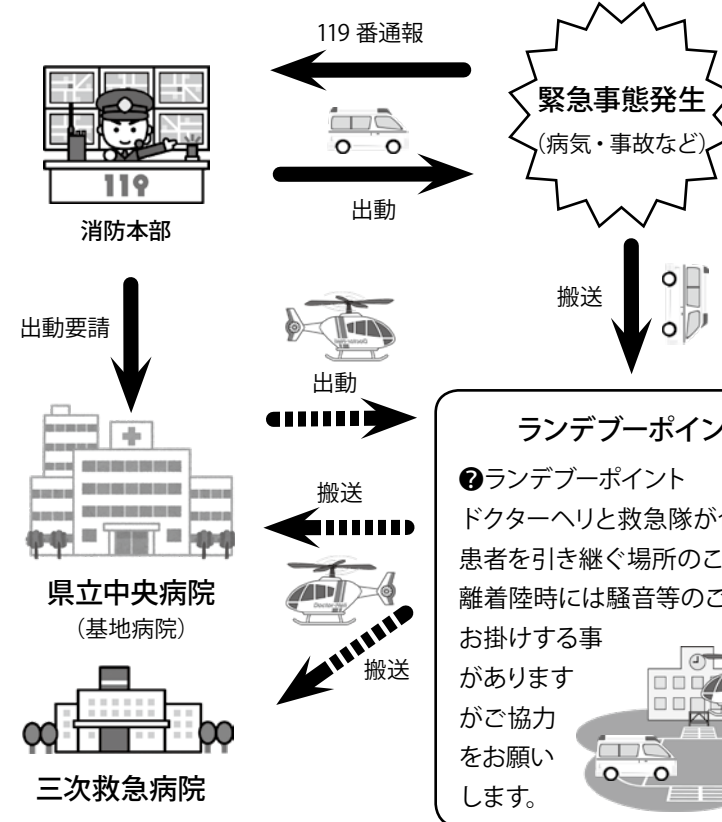
どのくらいで着く？
ヘリ到着時間（目安）

ドクターヘリは基地病院の石川県立中央病院屋上ヘリポートにて待機しており、消防機関の出動要請により出動します。

- 運航速度 時速約200km
- 航続距離 約400km
- 出動範囲 県内全域



ドクターヘリ
運航の流れ



ランデブーポイント

①ランデブーポイント
ドクターヘリと救急隊が合流し、患者を引き継ぐ場所のことです。離着陸時には騒音等のご迷惑をお掛けする事があります。ご理解をお願いします。

ドクターヘリの利用
費用の負担はありません

ドクターヘリを利用した場合でも費用はすべて国と自治体が負担する事となっており、救急車を利用した場合と同様に患者個人への負担はありません。
※病院での治療には費用が掛かります。

能登消防署 ☎ 76-0085



柿平 千夏さん(柳田中3年)

街灯増設による通学環境の改善、町のPR活動への参画

【質問】 夜間の安全と犯罪対策のため、柳田の一部地区における街灯の増設をお願いしたい。私たち中学生が、町の良さを伝えるPR活動に参加することはできないか。

【町長】 町では、昨年度、通学路や送迎の待ち合わせ場所などに、106基の防犯灯を設置した。まだ行き届いていない場所がある場合は相談してほしい。中学生のみなさんには、いろいろな場面で、町のPR活動をしていただいている。今後、町内のイベント等で参加・協力をいただく機会を検討したい。



寺谷 小町さん(能都中3年)

能登町で行われている少子化対策と効果

【質問】 町ではどのような少子化対策を行っているのか。また、その効果は。能登町は、合計特殊出生率が高いが、出生率は低くなっていることについてその理由を教えてください。

【町長】 町では、子どもを産み育てやすい環境づくりのため経済面や身体・精神面からの支援を行っている。能登町は若い年齢層の割合が少なく、高齢者の割合が多いので、合計特殊出生率が高いが、出生率は低い状況となっている。若い年齢層の人口を増やすことが課題である。



山本 翔太郎さん(柳田中3年)

ICT(情報通信技術)環境整備や観光客誘致について、関係する事業や計画は

【質問】 インターネット回線が、なかなかつながらないことへの改善策や学校教育におけるICT環境の整備状況は。また、柳田にある古い家屋を生かして観光客誘致をしてみてもどうか。

【町長】 町では、今年から3年間かけ柳田・内浦地区の施設を再整備し、インターネット環境を改善する。各学校にはタブレット型端末が配備された。効果的な活用により分かりやすい授業が展開されると思う。古い家屋を生かした観光客誘致について現時点では具体的な整備計画はない。



藤村 真妃さん(柳田中3年)

少子高齢化対策、ICT(情報通信技術)を活用した若者定住策

【質問】 出生率の低下や若者の都会志向の問題を受け、町ではどのような対策をしているのか。また、町としてICTを利用した若者定住の工夫はあるのか。

【町長】 町では、子育て世代を費用の面から支える経済的支援と、相談体制を整備する身体・精神的支援を行い、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めている。ICTを利用した若者定住の工夫として、地域間の情報格差の解消を図るため、ケーブルテレビの伝送路を光ファイバー化し、高速で安定的なICT環境を整備する。



町の発展願い、次代を見据えるまなざし



寺下 和樹さん(能都中3年)

成人年齢引き下げによる影響や成人式の実施予定

【質問】 成人年齢が18歳に引き下げられるが、町では2022年度の成人式をどのような形で、どのような時期に行う予定なのか。

【町長】 現在国で成年年齢引き下げを見据え「成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議」が組織され環境整備等について議論が交わされている。町では国の動向を注視しつつ、2022年度の成人式の実施時期やあり方を検討し、できるだけ早いうちに結論を出したい。



加賀 美桜さん(松波中3年)

UIターン促進への具体的取組み、空き家の活用策

【質問】 町へのUIターンの促進・具体的取組とその成果について教えてください。空き家を利用して若者や子育て世代が集う空間を作ってはどうか。

【町長】 町では定住促進協議会を中心にして、移住者の定住を支援する事業を行っている。これまでに58世帯96名の方が移住した。地域のにぎわいの創出にもつながる、空き家を利用した若者や子育て世代の方々が集う交流空間づくりも、今後進めていきたい。



四方 帆奈美さん(小木中3年)

子どもの遊び場の少なさの現状と対策

【質問】 児童公園が少なく、また除草・遊具設置等の整備が十分になされていない現状と対策について聞きたい。

【町長】 既存の児童公園の中には、遊具の老朽化により一部使用できない箇所があったり、公園の立地環境から利用者の減少が進み、管理が滞り利用されにくい状況がある。既存の公園の再整備を含め、官民協働による公園や広場の維持管理体制づくりを推進する。



濱野 美生さん(能都中3年)

地産地消の現状、能登町産品のブランド化への取組み

【質問】 町の地産地消の現状、今後の地産地消の持続について、どのように備えているのか。今後、ブランド化して消費や販売を拡大したい能登町産の農産物や水産物などはあるのか。

【町長】 町内では各家庭や飲食店を中心に地産地消が行われている。今後の持続のために第1次産業に従事される方の所得向上を目指し、農協や漁協と連携して取り組みを進めている。

近年ブランド化を進めている能登町産の農産物の一つに「能登姫」というお米がある。

能登町民文化祭

芸術（展示）部門

日時 11月3日（土）～4日（日）
9時～17時（4日は15時まで）
会場 内浦体育館

芸能発表

日時 11月4日（日） 9時～15時頃
会場 内浦第二体育館

囲碁部門

日時 11月4日（日） 10時～15時
会場 スポーツ研修センター

茶道部門（抹茶御点前）

日時 11月4日（日） 10時～15時
会場 多目的交流研修施設
（内浦野球場むかい）



議会

平成30年
第6回8月会議・
第7回9月定例会議

■第6回能登町議会8月会議

第6回能登町議会8月会議は、8月27日に開会し、会期を1日間と定め、財産の取得など議案2件が上程され、持木町長が提案理由を述べ、審議の結果、議案2件は原案のとおり可決されました。

■可決された議案…2件

- ・財産の取得について
- ・請負契約の締結について（平成29年度放送ネットワーク整備支援事業（ケーブルテレビネットワーク光化促進事業）及び平成30年度情報通信基盤整備推進事業能登町有線テレビネットワーク施設（柳田地区）再整備工事）

■第7回能登町議会9月定例会議

第7回能登町議会9月定例会議は、9月3日に開会し、会期を14日までの12日間と定め、報告1件、平成30年度

文化祭送迎バス運行表

※4日（日）のみ運行。奥能登バス等のバス停付近に停車します。

1. 柳田発、山中経由 会場行

バス停名	朝の便	昼の便
柳田	8:15	12:00
上町公民館前	8:20	12:05
中又	8:23	12:08
能都庁舎	8:30	12:15
山中	8:36	12:21
不動寺	8:40	12:25
上	8:43	12:28
内浦庁舎前	8:47	12:32
内浦体育館	8:50	12:35

2. 鶴川発、能都・小木経由 会場行

バス停名	朝の便	昼の便
鶴川口	7:50	12:00
能都七見	7:53	12:03
矢波弁天	7:57	12:07
波並駅前	8:00	12:10
藤波駅口	8:03	12:13
能都庁舎	8:08	12:18
羽根漁港	8:15	12:25
本小浦	8:20	12:30
縄文真脇温泉口	8:25	12:35
小木港	8:30	12:40
九十九湾	8:35	12:45
能登新保	8:38	12:48
新村	8:42	12:52
宮崎	8:45	12:55
内浦体育館	8:50	13:00

帰りの便

帰りは逆ルートで運行。夕方の便は芸能発表が終了次第発車します。

1. 山中経由、柳田行

バス停名	昼の便	夕方の便
内浦体育館	11:00	15:30
能都庁舎	11:20	15:50
柳田	11:35	16:05

2. 小木・能都庁舎経由、鶴川行

バス停名	昼の便	夕方の便
内浦体育館	11:00	15:30
能都庁舎	11:40	16:10
鶴川口	12:00	16:30



続☆星のささやき

「アンドロメダ銀河」

秋の代表的な星座にアンドロメダ座には有名な「アンドロメダ銀河」があります。銀河というのは星の大集団です。私たちの太陽系も「銀河系」という銀河の中にいます。アンドロメダ銀河は渦巻銀河という種類の銀河です。望遠鏡とカメラで撮影すると渦を巻いている姿が分かります。銀河系には約2千億個の星があるのに対し、アンドロメダ銀河には約1兆個もの星があると考えられています。

アンドロメダ銀河は銀河系のお隣の銀河になります。お隣と言っても地球から約250万光年も離れています。光の速さで250万年かかる距離なので、今私たちが見ているアンドロメダ銀河は250万年前の姿ということになります。

銀河系とアンドロメダ銀河は重力で引き合っており、40億年後には衝突します。星同士が衝突することはありませんが、2つの銀河が混ざり合い、やがて1つの銀河になると考えられています。



アンドロメダ銀河
＝満天星撮影＝

満天星へのお誘い

☆まんてんゼミ 第3回

「天の川銀河のすがた」

研究で明らかになってきた天の川銀河の姿をわかりやすく紹介します。私たちの住んでいる天の川銀河とはどんなところなのか探っていきましょう。

日時 10月28日（日）

16:00～17:00

場所 星の観察館「満天星」
プラネタリウム

参加費 無料

定員 100人、予約不要

10月は3R（スリーアール）推進月間 ～ 限りある資源を未来につなぐ。今、僕らにできること。～

3Rって何だろう

3R

Reduce
Reuse
Recycle

リデュース＝ごみの量を減らす

取組の例 レジ袋をやめてマイバックを活用。量り売りを活用して必要な分だけ購入 など

リユース＝一度使ったものをごみにせず何度も使う

取組の例 古着やフリマを活用。リサイクルショップの利用 など

リサイクル＝使い終わった物を資源に戻して製品を作る

取組の例 ごみの分別を徹底するなど

ただいま「選ぼう! 3Rキャンペーン」が全国のスーパー、ドラッグストアなどで実施中。詳しくは各店舗またはインターネット（「Re-Style」で検索）をご確認ください。

学びを深める夏！学習合宿を実施しました

能登高校とまちなか鳳雛塾では、「能登高合宿」「まちなか合宿」という各3日間の学習合宿を夏休み期間中に行いました。「能登高合宿」は能登高校が主催の学習合宿ですが、まちなか鳳雛塾のスタッフも参加し、能登高校の先生と共に生徒の学習指導にあたりました。

能登高合宿

「能登高合宿」は8月8日から8月10日までの3日間、「内浦スポーツ研修センター」と「能登少年自然の家」で行われました。

大学受験・公務員試験への対策や、集中して学習する時間を多くとることによって学習習慣を身につけることなどが目的で、能登高校の先生とまちなか鳳雛塾のスタッフ、公務員試験対策講師が指導にあたりました。

基本的には自習スタイルで学習し、個別指導が必要な場合には質問対応室を別室で用意して、他の生徒の集中を切らすことなく質問に対応できる環境を用意しました。さらに、公務員志望の生徒は公務員試験対策講座を受講し、大学進学志望の生徒は英語の長文読解講座を受講しました。

初日と2日目の夕食後にはゲストを招いて座談会を開催し、能登高生が自分の将来に目を向ける時間を作りました。



顔を合わせじっくりと話し合う生徒ら

初日は能登町ふるさと振興課地域戦略推進室が取り組んでいる「奥能登チャレンジインターンシップ 能登町チーム」の大学生をゲストとしてお招きし、能登町の魅力や将来について生徒と共に考える機会を作りました。また、生徒に大学生活のイメージをより鮮明に持ってもらうために大学生から「大学に進学するとどんなことができるのか」という視点でも話をしてもらいました。

2日目は、大学2年生になった能登高校のOBで鳳雛塾1期生、現在大学2年生の大島広夢さん（金沢学院大学）と森本真矢さん（富山大学）をゲストとしてお招きし、①能登町を出て一人暮らしをして戸惑ったこと、②大学で学んでいる学問のこと、③高校生の間に挑戦してほしいこと—について話してもらいました。能登高校内に鳳雛塾が開設されてから約5年目を迎えました。開設と同時に能登高校へ入学した彼らが後輩を激励する機会を作れたことは、まちなか鳳雛塾スタッフとして感慨深いものがありました。



大学での様子を話す能登高OB

まちなか合宿

「まちなか合宿」は8月5～7日の3日間、七尾市の「エキゼミ七尾校」で行われました。（「エキゼミ」はまちなか鳳雛塾の運営委託を受けている会社の学習塾です。）

東大や医学部医学科合格に向けて努力する同世代と机を並べて学習することで、高い意識で取り組む高校生の空気感、集中力を肌で感じ、参加したまちなか鳳雛塾の生徒は刺激を受けました。日々の学習に見られる創意工夫や、教材の活用方法など受験勉強ノウハウを共有することで、参加したまちなか鳳雛塾スタッフも指導スキルを向上させる機会となりました。

まちなか鳳雛塾からは高校生2年生1人、高校1年生2人、中学3年生1人の合計4人が参加しました。少人数であったため、学習内容の指導だけではなく、今後どのように勉強していくかについてなど、学習方法についての指導も時間をとって行うことができました。

一日の学習を終えた夕方には、能登・七尾・輪島の生徒と一緒に夕食をとりながら交流を深めました。



いつもと違う環境のなか、熱心に学習をする塾生

参加者の声



宿題を進めることができ、プラス、英語の力を身につけることができた。

英語の自分自身の課題が見つけられた。

夏休みに入ってから一番勉強した。

合宿に参加していた他地域の先輩方は勉強に対して貪欲な姿勢でした。大学受験の大変さや自分の甘さを実感しました。

（プロジェクトコーディネーター 山元 聖也）

10月のまちなか鳳雛塾スケジュール

5月7日から開塾時間・時間割が変わりました。

受講対象者	月	火	水	木	金	土
全学年	16:00～22:00 自習学習解放					14:00～22:00 自習学習解放
高校生					20:00～21:00 まちなかゼミ	
中学生・発展				19:30～21:00 一斉演習日※①		
中学生・基本			19:30～21:00 一斉演習日※①			
小学4～6年生		16:00～18:00 一斉演習日※②				

※①…中学生の一斉演習日は、学習効果向上を目的に習熟度別に発展・基本の2クラスに分け全学年合同で実施。クラス分けは入塾時のテスト結果で判断。※②…小学生は①・②のどちらかを選択。

■開塾時間：月曜～金曜 16:00～22:00、土曜 14:00～22:00（日曜・祝日は閉館）
■毎月29日～31日は一斉演習を原則休講。自習学習開放は行っています。
■小中学生は各クラスごとに定員有り。定員になり次第募集を停止します。

まちなか鳳雛塾

検索

まちなか鳳雛塾で検索!!

<https://hosujuku.wixsite.com/machinaka>

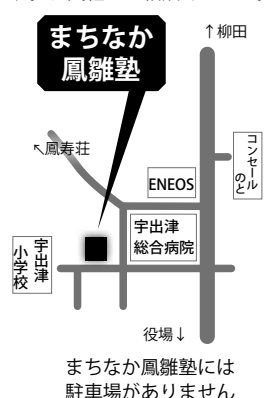


☎ まちなか鳳雛塾 0768-84-5282

（ひかり電話のため局番が「84」です。）

受付時間 ⑧～⑤の 16:00～22:00

塾生の保護者や入塾を考えている方は、授業見学随時可能です。お気軽にご相談ください。



まちなか鳳雛塾には駐車場がありません